

もっと  
すごい!

PORT OF HACHINOHE



2022年7月発行

NO. 52



ポート博士

# 八戸港だより

TOPIX

P2・八戸港コンテナ貨物取扱実績  
・みなと通信

P3・八戸港ポートセールスアドバイザー  
プリンス海運(株)営業本部顧問  
川嶋重夫氏からのメッセージ  
「～八戸港について～」

P4・八戸港の主なデータ①

P5・八戸港の主なデータ②

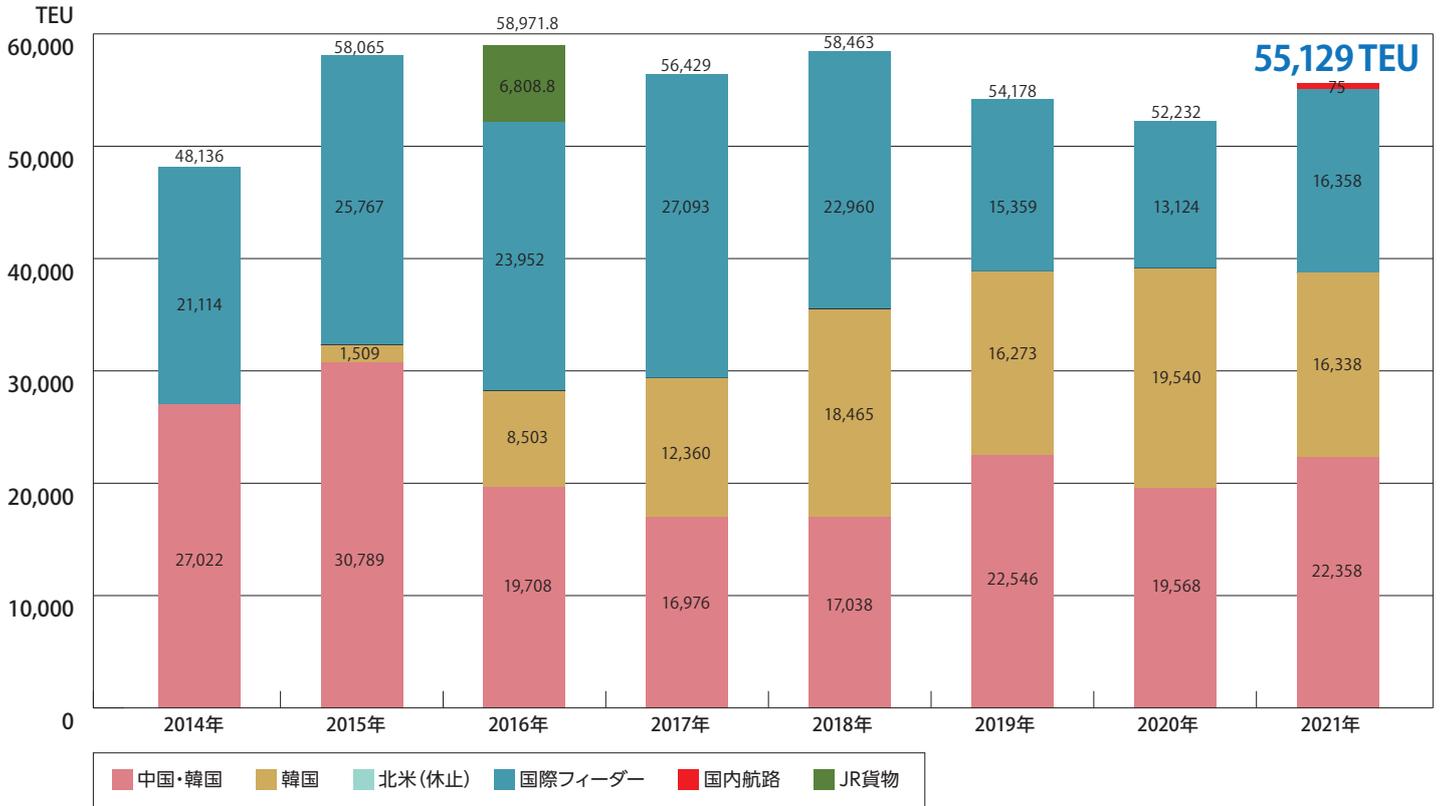
P6・ジェトロ青森貿易情報センター  
所長 木村慶一氏寄稿  
「中国向け輸出」

P7・令和4年度 八戸港コンテナ関連  
補助事業のご案内

P8・航路情報、各お問い合わせ先等



# 7年連続5万TEU超え！(2015年～2021年)



## 航路別コンテナ数 (TEU)

航路名	中国・韓国	韓国	北米	国際フィーダー	国内航路	JR貨物	合計	対前年比
2014年	27,022	0	0	21,114	0	0	48,136	105%
2015年	30,789	1,509	0	25,767	0	0	58,065	121%
2016年	19,708	8,503	0	23,952	0	6,808.8	58,971.8	102%
2017年	16,976	12,360	0	27,093	0	0	56,429	96%
2018年	17,038	18,465	0	22,960	0	0	58,463	104%
2019年	22,546	16,273	0	15,359	0	0	54,178	93%
2020年	19,568	19,540	0	13,124	0	0	52,232	96%
2021年	22,358	16,338	0	16,358	75	0	55,129	106%

※「0」：航路休止中 ※JR貨物は、1コンテナ(12フィート)につき 0.6TEU として換算



八戸港管理所では、大規模地震に備え、平成29年度からシーガルブリッジの耐震補強及び取付道路改良事業を行っており、令和4年度に完了する見込みです。

シーガルブリッジは、陸地とポートアイランドを結ぶ唯一のアクセス橋であり、交通及び防災の観点から非常に重要な施設となっております。

そのため、レベル2地震が発生しても、被害を最小限、早期復旧可能な状態に抑えられるように補強を行うほか、取付道路部分の線形を改良し、安全性の確保及び利便性の向上を図っています。



## 『～八戸港について～』

八戸港ポートセールスアドバイザー  
プリンス海運株式会社 営業本部 顧問

かわしま しげ お  
川嶋 重夫 氏



2年前に八戸港ポートセールスアドバイザーを仰せつかりました川嶋と申します。その直後にコロナによる緊急事態宣言やまん延防止等重点措置等により行動が規制され、経済も大きな影響を受けました。自分もその影響で動きたくても動けない状況が続きました。ご関係者様をはじめ、皆様にはこの2年間大したこともできず、誠に申し訳ありません。やっと何とか少しずつ動けるようになり、この度、このような機会をいただきましたので、今後の対応についてお話させていただきます。

ご存知のように、この2年間で経済をはじめ、サプライチェーン、海上運賃、原油情勢等大きな変化があり、2050年のSDGsを目指した変革にも今後対応していかないといけない状況となりました。特に、サプライチェーンの混乱による海上運賃は前年対比4～5倍の高騰というとんでもない状況になりました。これに加え、2023年には外航海運による燃費規制が世界的に適用されますので、更なるサプライチェーンへの影響が増すものと思われまます。外航船会社も来年からの燃費規制に対応するために規制をクリアできる新たな船を建造していますが、本格的な投入は2024年となりそうです。

このような状況で、外航コンテナ本船の大型化が進み、日本への寄港も相当影響を受けており、特に京浜や関西の主要港への寄港が増えています。極端な時は名古屋や博多の抜港が見られ不安材料となっています。また、韓国の釜山港の混雑も加わり、釜山港経由の日本各港への配船も制約を受けております。その結果、京浜港や阪神港からの内航フィーダーが増加しております。

このような背景の中、八戸港も2020年にコンテナ取扱量は減少しましたが、2021年は55,129TEUと挽回し、歴代5位の実績となりました。さらに、釜山港の混雑にも負けず、韓国経由の輸入が増加しているのは大変健闘している結果であると思います。

続いて、八戸港のポテンシャルについてお話させていただきます。

まず、リンゴの輸出ですが、政府の輸出奨励対策もあり、徐々に輸出が伸びているようですが、八戸港からのダイレクトな輸出には繋がっておりません。これは、リンゴの輸出商慣習や取引内容の影響が大きく、京浜港からの輸出がメインとなっていることによります。日本の輸出商社をはじめ、台湾の輸入商社やユーザー様等を訪問し、八戸港のメリットをPRし、利用に繋げるように努力するしかありません。

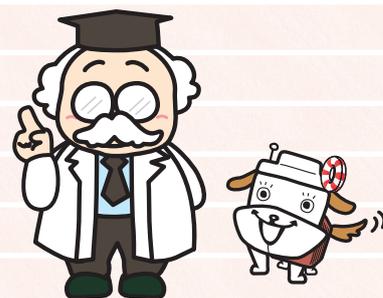
次に、東南アジアでは、多くの富裕層の人達が日本の銘酒を好んでいます。ワイン感覚で飲めると人気もあります。ただ、『瀬祭』や『十四代』、『八海山』等の銘酒が売れているのが現状です。青森にも素晴らしいお酒が沢山ありますので、県と協力しながら、青森のお酒のブランド化を推し進めることが重要であり、ブランド化されれば、自然と海外の販売も増えると思います。

また、青森には、東北地域で大手の納豆メーカーやサーモンの養殖等、地元の有力な企業が数多くありますので、是非これらの企業の皆様とタイアップして八戸港の利用拡大を目指していきたいと思ひます。

さらに、SDGsとしては、風力発電の施設の設置が望まれている中、青森県では下北地域で陸上と洋上の両方での開発が行われようとしているとともに、大手メーカーによるバイオマス発電の取組等、数多くのポテンシャルが存在しています。

最後に、2024年にはトラックドライバーの時間外規制が施行されます。これまで関東からダイレクトにトラックで輸送されていた貨物は、この規制により、中継・鉄道・海路といった対策を取らなくてはなりません。先日、大手食品メーカーを訪問した際、八戸港は2024年問題の対応策での大きな拠点と考えていると話しておられました。

引き続き、微力ながら八戸港の発展に努めて参りますので、今後とも宜しくお願い致します。

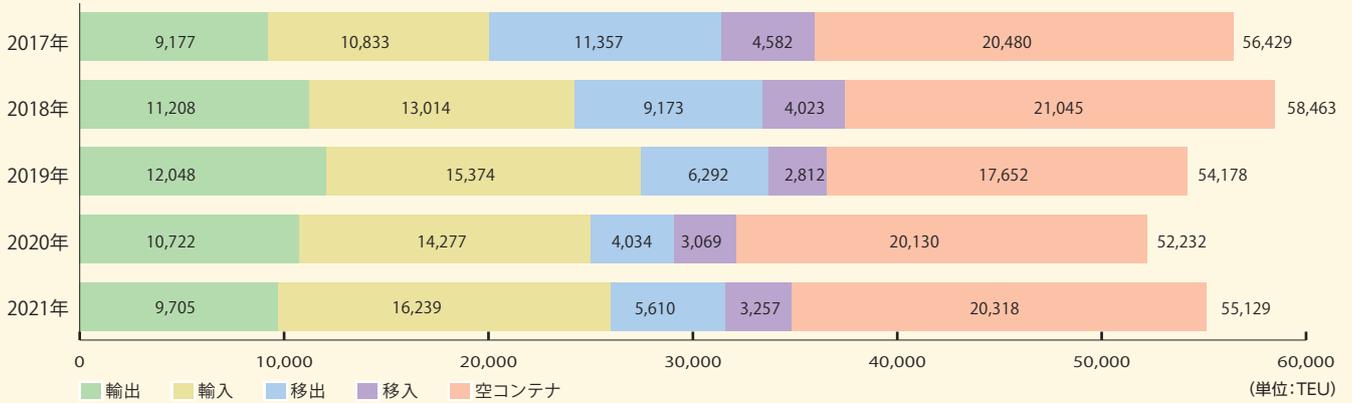


# 戸港の主なデータ

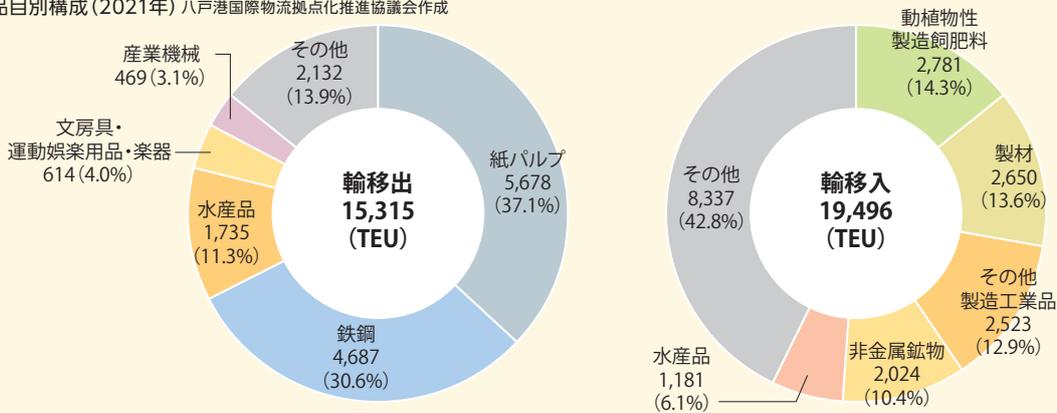
## 1. コンテナ数で見る戸港

※TEUとは、コンテナ船の積載能力を示す単位で、1TEUは20フィートコンテナ1個分を示します。コンテナを単純合計数で表示する代わりに、20フィートコンテナ1個を1、40フィートコンテナ1個を2として、コンテナ貨物量をこの数値の合計で表示する計算方法です。

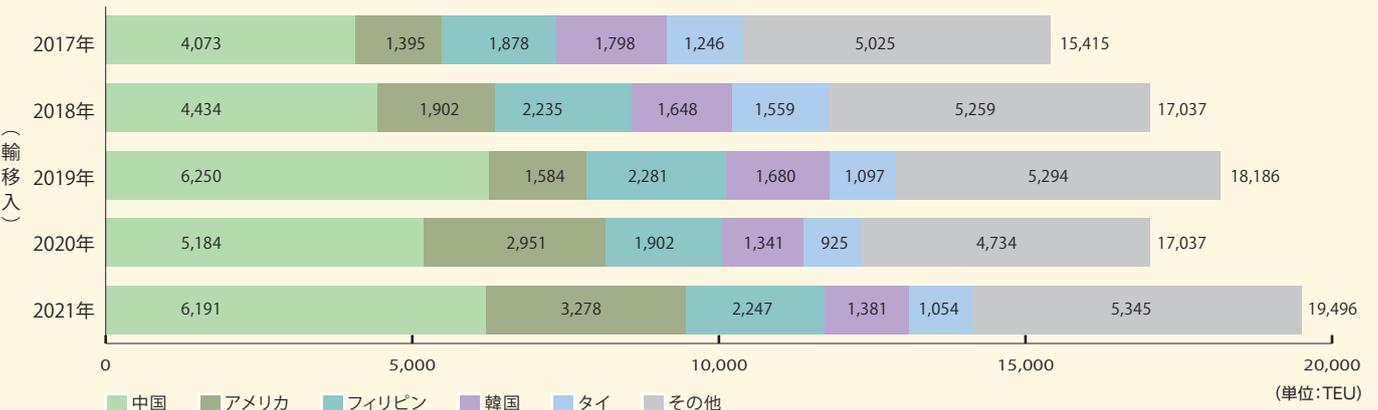
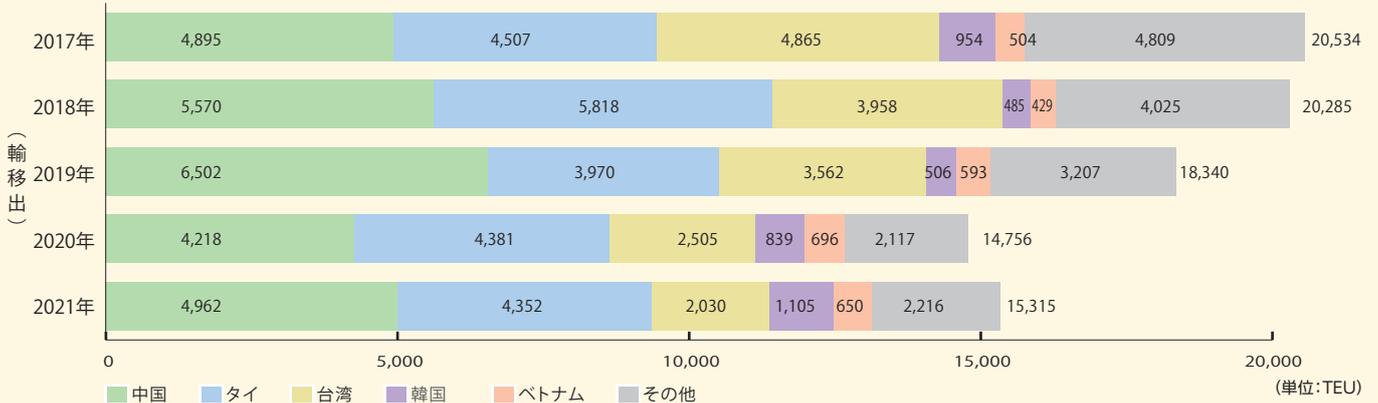
①取扱量の推移 戸港統計年報(青森県戸港管理所作成) ※2021年のみ戸港国際物流拠点化推進協議会作成速報値



②品目別構成(2021年) 戸港国際物流拠点化推進協議会作成



③国別推移 戸港国際物流拠点化推進協議会作成

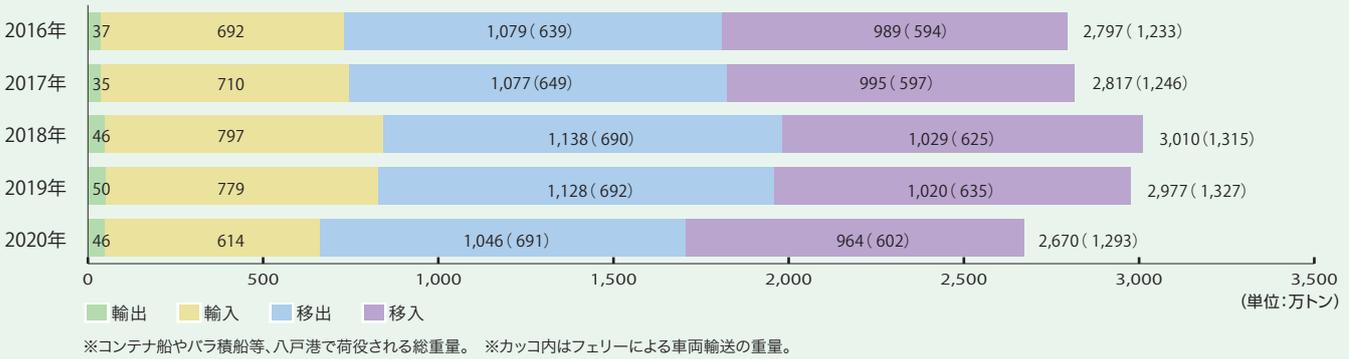


## 2. 金額で見る八戸港 財務省函館税関貿易概況(税関ホームページ)

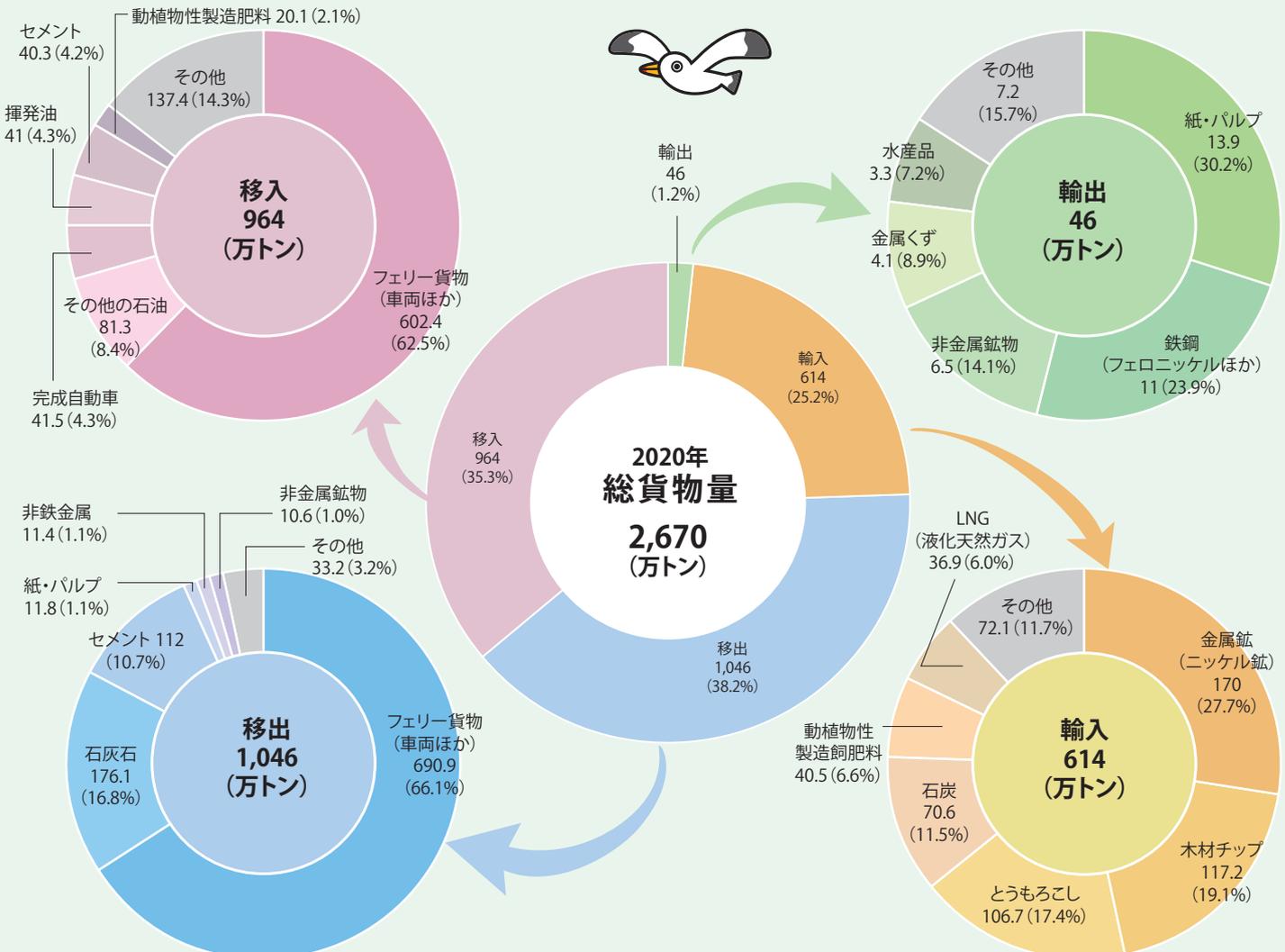


## 3. 重量で見る八戸港 八戸港統計年報(青森県八戸港管理所作成)

### ①海上出入貨物量の推移



### ②海上出入貨物構成(2020年)



# 中国向け輸出

文/ジェトロ青森貿易情報センター 所長 木村 慶一 きむら けいち



昨秋からのエネルギー価格上昇に加えて、今年上半期の広範囲に及び原材料費の上昇で、消費者物価も上がっています。県内への輸入で、量は前年比で増えていないにも関わらず、輸入額はいまや輸出額の3倍となっています。物流コストの増大もあり、コロナ前と比べて、物価上昇が著しい海外主要市場向けの輸出価格は2倍以上にしているところが増えて来ている一方で、日本国内では価格に転嫁しても売上の回復が追いつかず、経営を圧迫。輸出や海外拠点を通じた海外の活力を取り込む(海外で稼ぐ)作業ができていない企業は、今後ますます苦しい展開になってくると考えます。

輸出を少し長い目で見ると、中国市場との付き合い方が気になっています。

青森県からの農水産・食品全体の輸出額190億円(2020年)のうち、水産品輸出は70億円弱(36%)。農水産食品輸出額に対して、ホタテは14%、サバが5%、それ以外の魚とナマコ、水産物調整品がそれぞれ4%となっています。

日本からの農水産・食品輸出は、例年4割が中国や香港(両輸出は同規模)向けですが、青森県からは同国・地域向けが5割、水産品輸出では両市場向けが合計82%を占め、最大の水産輸出先である中国向けは6割です。中国向けは原料に近くて加工度合いが比較的低いモノが多く、市場が大きいだけに中国国内の供給を補う意味でも受注量の幅が大きく上下するのが特徴です。輸出先としての依存度が高まって1国依存となり、米国や豪州のように中国との貿易摩擦が発生して輸出が停まる事態になれば、水産輸出企業が大きな打撃を受けます。

サバの輸出も中国向けが大幅に増えました。漁獲量自体が少なかった2019年は県内水揚げサバ輸出の1割が中国向けでしたが、2020年は同輸出額の94%が対中輸出でした。輸出2~3位のタンザニアとベトナムはそれぞれ2%に過ぎません。複数の八戸の水産会社によると、サバの漁獲時期に入る前に、冷凍されていた前年のサバが、中国向けにかなりの安値で大量に輸出された、とのこと。中国やアフリカ向けに近年よく輸出されている小型のサバは、国内の缶詰用の供給・在庫量が過剰になると輸出に回されている関係にあります。引続きサバの水揚げが少ないことに加えて、2020・21年とコロナ禍で物流が高騰し、価格に競争力がなくなっていることもあり、EUや米国向けについては、輸出実績がほぼなくなりました。国内の余剰を回す発想では、輸出向けに安定した価格と量で供給できず、商談にもなり得ません。(長期的な安定的な供給・輸出のため、余力があるうちに少ない労働力で回せるよう企業とともに設備投資を行なって養殖している他地域の例をみると、海面や陸上での養殖に適した魚種に絞って力を入れている地域もあります。)

中国においても食料品が高騰していて、2021年の大豆の価格は前年比で10倍になった、との報道がありました。中国も2030年

代前半を過ぎると急激な高齢化・人口減少時代が始まりますが、それまでは世界市場での中国企業による買い占めが未曾有の規模で起きていくでしょう。トウモロコシ、コメ、小麦などでは現時点ですでに世界の在庫量の過半を中国企業が買い付けています。主な輸入元(生産国)は米国、ブラジル、アルゼンチンなどです(2021年迄はウクライナも)。

食料安全保障が前面に出て来ており、2021年末には習近平国家主席が中央農村工作会議で、農畜産業を再活性化せよ、との訓示を出し、穀物類では大豆・菜種の作付けを増やすほか、畜産では「2025年までに豚肉の95%の自給を達成せよ」といった具体的な指示も出ています。

中国向けの水産品以外で八戸港を利用する、野菜穀物や畜産類の観点からはどう見えるのでしょうか。いずれも全国的にみて青森県の産出額は多いながら、現時点では野菜穀物類はむしろ輸入している方であり、また食肉は対中輸出ができず二国間交渉中ですが、強い中国の需要を背景に、将来的には輸出可能性があると思われます。

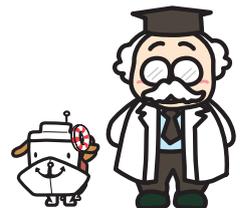
青森県の鶏卵は1戸当りの飼養羽数が全国1位で規模が大きいところが特徴で、県内外の鳥インフルエンザの影響は例年ありますが、引続き香港中国方面からの引合は多く受けており、長い目で見ても供給不足です。

同じく養豚の1戸当り飼養頭数は全国3位で、将来的に中国市場向けの飼育を打診されているような県内企業もあると聞いています。

畜産にせよ、野菜穀物類にせよ、上記指示達成を目指している中国側より、輸出を飛び越して、現地生産・法人設立や技術提携等を打診されるところが増えるかもしれません。

八戸広域圏の水産・野菜穀物等の加工品をはじめ、ジェトロでは引続き八戸市とともに、米国・東南アジア向け等を中心とした、海外販売網の新規販路開拓をオンライン商談などで支援させて頂いております。

ご関心のある企業様は、当事務所または八戸市商工課貿易振興グループまでご連絡下さい。



日本貿易振興機構(JETRO)  
青森貿易情報センター

〒030-0802 青森市本町1-2-15 5階

Tel.017-734-2575 Fax 017-773-2877

令和  
4年度

## 八戸港コンテナ関連 補助事業のご案内



## 申請受付期間

- 1 ..... 2022年7月1日(金)～11月30日(水)  
※予算上限額に達した場合、それ以降は仮受付といたします。
- 2～5 ..... 2023年1月4日(水)～ 1月31日(火)
- 6 ..... 2022年7月1日(金)～2023年2月28日(火)

## 補助対象期間

- 1～5 ..... 2022年1月1日(土)～12月31日(土)  
※横浜港利用加算:2022年7月1日(金)～12月31日(土)
- 6 ..... 航路の開設又はトライアル運航の開始日から  
2023年2月28日(火)まで

荷主向け

※  
1  
/  
2  
は併用不可  
それ以外は併用可

## 1 新規・シフト貨物集貨促進事業

助成対象

八戸港を新規に利用してコンテナ貨物の輸出入を行う荷主(過去2年間利用なし)又は八戸港でのコンテナ貨物取扱量を前年同期比で増加させ、かつ、シフト貨物(昨年他港を利用した貨物と同一品目を八戸港へシフトさせた貨物)を有する荷主

助成金額

補助対象期間における新規貨物・シフト貨物の取扱量に応じて **20,000円/TEU**

さらに

## ・リーファーコンテナ加算

リーファーコンテナ利用分に対して **2,500円/TEU**

## ・陸送費加算

出荷(納品)場所と八戸港コンテナターミナル間が直線距離で30km以上離れている輸出入貨物の陸送経費に対して対象経費の1/3(上限 **15,000円/TEU**)

**1社あたり最大375万円補助!**

さらに  
さらに

## ・横浜港利用加算

横浜港経由の国際フィーダー航路利用分に対して **15,000円/TEU** 1社あたり最大 **150万円**

**合計最大525万円補助!!**

## 2 継続大口利用者支援事業

助成対象

八戸港で3年間(当年及び過去2年)のコンテナ貨物平均取扱量が150TEU以上の荷主

助成金額

当年取扱量に応じて **1,000円/TEU(上限150万円/社)**

## 3 八戸港くん蒸上屋利用事業費補助金

助成対象

八戸港くん蒸上屋を利用する荷主

助成金額

1室1回あたり **50,000円**

丸大豆、原木、  
牧草などに使われて  
おるんじゃ!



## 4 小口混載貨物輸送事業費補助金

助成対象

八戸港で小口混載貨物サービスを利用して輸出入を行う荷主

助成金額

貨物R/T(1t又は1m<sup>3</sup>のいずれか大きい方)あたり **3,000円**

コンテナに満たない  
小口の積載量でも  
補助されるんだ!



LCL事業者向け

## 5 小口混載貨物サービス事業支援助成金

助成対象

八戸港で小口混載貨物サービスを提供する事業者

助成金額

2022年1月1日から2022年12月31日までの小口混載貨物を対象に **50,000円/コンテナ**

船会社向け

## 6 国際定期コンテナ航路運航支援事業費補助金

助成対象

①外航航路(八戸港と海外の港湾を起点、寄港地又は終点とする航路)を新規開設、又はトライアル運航する船社  
②国際フィーダー航路(八戸港と東京港、横浜港又は川崎港のいずれかを起点又は終点とする航路)を新規開設、又はトライアル運航する船社

助成金額

①外航航路:1寄港あたり **50万円(上限250万円)**

②国際フィーダー航路:1寄港あたり **10万円(上限50万円)**

八戸港コンテナ定期航路就航状況 (2022年7月現在)

□ 外航 □ 国際フィーダー □ 国内航路

コンテナ航路	船社名(日本総代理店)	集荷代理店	寄港間隔	寄港地
中国・韓国航路 (共同配船)	南星海運(株) (南星海運ジャパン(株))	八戸港湾運送(株)	週2便 (月・土)	(NCQ航路) 青島→大連→釜山→博多→常陸那珂→仙台→ <b>八戸(月)</b> →秋田→釜山新港→釜山→蔚山→光陽
	高麗海運(株) (高麗海運ジャパン(株))	ナラサキスタックス(株) 八戸支店		(NSP航路) 寧波→上海→釜山→清水→川崎→小名浜→仙台→ <b>八戸(土)</b> →苫小牧→伊万里→釜山→蔚山→光陽
韓国航路 (協調サービス)	長錦商船(株) (株)シノコー成本	八戸通運(株)	週2便 (火・土)	(THS2航路) 釜山新港→仙台→ <b>八戸(火)</b> →苫小牧→舞鶴→境港→釜山→釜山新港→清水→常陸那珂→仙台→ <b>八戸(土)</b> →秋田→酒田→釜山→釜山新港
	興亜LINE(株) (株)シノコー成本	北日本ポートサービス(株)		
北米航路	Westwood Shipping Lines (セウマリタイムエージェンシー(株))	八戸港湾運送(株)	休止中	シアトル・バンクーバー・釜山ほか
国際フィーダー航路	(株)横浜コンテナライン	八戸通運(株)	週1便(金)	横浜→仙台→八戸(金)→苫小牧
	井本商運(株)	八戸港湾運送(株)	週1便(土)	横浜→仙台→八戸(土)→苫小牧→東京
	鈴与海運(株)	八戸港湾運送(株)	週1便(火)	横浜→東京→八戸(火)→苫小牧
国内航路	鈴与(株)	八戸港湾運送(株)	月1便	清水・市原・大船渡・函館・苫小牧

主な寄港地と八戸港の所要日数(最長) (2022年7月現在)

寄港地	輸出	輸入
釜山(韓国)	4	5
光陽(韓国)	6	※
蔚山(韓国)	5	※
基隆(台湾)	9	14
台中(台湾)	10	15
高雄(台湾)	11	15
香港(中国)	10	9
大連(中国)	10	7
青島(中国)	8	8
上海(中国)	8	10
天津新港(中国)	7	9
寧波(中国)	9	8

寄港地	輸出	輸入
蛇口(中国)	14	10
シンガポール	17	24
レムチャパン(タイ)	13	14
マニラ(フィリピン)	10	10
ホーチミン(ベトナム)	13	12
ハイフォン(ベトナム)	12	12
タンジュンプリオク(インドネシア)	16	22
ムンバイ(インド)	25	25
ポートクラン(マレーシア)	20	22
ドバイ(UAE)	28	22
タコマ(米国西岸)	21	21
ロングビーチ(米国西岸)	20	20

寄港地	輸出	輸入
シアトル(米国西岸)	21	21
ニューヨーク(米国東岸)	60	60
バンクーバー(カナダ)	20	16
ブリスベン(オーストラリア)	28	19
オークランド(ニュージーランド)	35	30
サウサンプトン(イギリス)	50	50
ルアーブル(フランス)	40	50
ブレーメルハーフェン(ドイツ)	45	45
ハンブルク(ドイツ)	45	50
ロッテルダム(オランダ)	41	42
アントワープ(ベルギー)	50	55

※光陽・蔚山(韓国)については、釜山にまとめた後に輸入されています。

八戸港ご利用のお問い合わせは次の各社へ!

海貨業者

- ◆八戸通運株式会社 海運部  
(株)シノコー成本、(株)横浜コンテナライン 集荷代理店  
TEL:0178-29-0202 FAX:0178-20-3281
- ◆八戸港湾運送株式会社 コンテナ事業部  
(南星海運ジャパン(株)、WSL、井本商運(株)、鈴与海運(株)、鈴与、オリエントオーバーシーズコンテナラインリミテッド(OOCL)日本支社、インターエイシアライン(株) 集荷代理店)  
TEL:0178-29-3177 FAX:0178-29-3130
- ◆新丸港運株式会社 営業部  
TEL:0178-20-2325 FAX:0178-20-2356
- ◆八戸運輸倉庫株式会社 営業部  
TEL:0178-28-2401 FAX:0178-28-6976
- ◆三八五流通株式会社 八戸区域事業所  
TEL:0178-52-7755 FAX:0178-52-7751
- ◆日本通運株式会社 八戸支店  
TEL:0178-20-3040 FAX:0178-20-3154
- ◆ナラサキスタックス株式会社 八戸支店  
(高麗海運ジャパン(株) 集荷代理店)  
TEL:0178-21-6000 FAX:0178-21-6050
- ◆北日本ポートサービス株式会社  
(SITC JAPAN(株)、興亜LINE(株) 集荷代理店)  
TEL:0178-20-2148 FAX:0178-29-3130

海運会社(国内総代理店)

- ◆南星海運ジャパン株式会社 【東京都】 中国・韓国航路 TEL:03-5843-6100 FAX:03-5843-6110
- ◆高麗海運ジャパン株式会社 【東京都】 中国・韓国航路 TEL:03-3500-5051 FAX:03-3500-5095
- ◆株式会社シノコー成本 【東京都】 韓国航路(長錦商船(株)) TEL:03-6278-6032 FAX:03-6278-6038  
(興亜LINE(株)) TEL:03-3273-4981 FAX:03-3281-8605
- ◆セウマリタイムエージェンシー株式会社 北米部 【東京都】 WSL:北米航路  
TEL:03-5733-7203 FAX:03-5733-7208
- ◆株式会社横浜コンテナライン 【横浜市】 国際フィーダー航路(横浜)  
TEL:045-227-8863 FAX:045-681-8885
- ◆井本商運株式会社 【神戸市】 国際フィーダー航路(東京・横浜)  
TEL:078-322-1600 FAX:078-322-1625
- ◆鈴与海運株式会社 【静岡市】 国際フィーダー航路(東京・横浜)  
TEL:054-354-3100 FAX:054-354-3102  
【東京営業所】 TEL:03-3432-7159 FAX:03-3432-0896
- ◆鈴与株式会社 【静岡市】 国内定期航路(清水・苫小牧)はこ廻船東廻り航路  
TEL:054-365-1348 FAX:054-365-1311
- ◆オリエントオーバーシーズコンテナラインリミテッド(OOCL) 日本支社【東京都】インド・東南アジア航路(横浜港トランシップ)  
TEL:03-3493-6001 FAX:03-3493-6405
- ◆インターエイシアライン株式会社 【東京都】 東南アジア航路(横浜港トランシップ)  
TEL:03-3580-6555 FAX:03-3580-6575
- ◆SITC JAPAN株式会社 【東京都】 中国・アジア航路(横浜港トランシップ)  
TEL:03-6262-7778 FAX:03-6262-7117
- ◆ジャパン・パン・ライズ株式会社 【東京都】 小口混載貨物サービス(輸出)  
TEL:03-6779-9610 FAX:03-6779-9650
- ◆イーキューワルドワイド株式会社 【東京都】 小口混載貨物サービス(輸出入)  
TEL:03-5643-3600 FAX:050-3153-1658



八戸港国際物流拠点化推進協議会 Hachinohe Port Promotion Commission

事務局 / 八戸市商工労働観光部商工課 貿易振興グループ  
〒031-8686 青森県八戸市内丸一丁目1-1 八戸市庁別館5階 TEL.0178-43-2111(代表) TEL.0178-43-9244(直通) FAX.0178-43-2256  
<E-mail> hppc@hachinohe-port.org <ホームページ> https://hachinohe-port.org/